

めざす目標タイムへ

～仲間の声援を背に、自分と戦って～

1月20日(火)、持久走大会を行いました。この日は、あいにくの曇天で、気温も前日より低い中でしたが、保護者や地域の皆様が、子どもたちの応援にかけつけてくださいました。

はじめの会で、司会進行を務める保健・体育委員会の代表が、「今まで練習してきた成果を出し切り、目標タイムを上回れるようにがんばりましょう」と投げかけると、「はい!」と元気な声が返ってきました。持久走に向けて、どの子も気持ちが高まっているようです。

さあ、本番。低学年の部、中学年の部、高学年の部に分け、時間をずらしてスタートしました。体育担当の先生の“走る姿勢”の教えが生きているのか、どの子も背筋を伸ばしてしっかり前を向き、力強く前へ前へと足を進めています。



後半になると、だんだんときつくなってきたようで、表情も苦しそうです。しかし、ペースが落ちることなく粘り強い走りを見せています。

「OOさん、がんばれー!」「ファイト!」「いけるよ!」・・・。はじめは運動場にしゃがんで応援していた子どもたち。いつの間にか立ち上がり、運動場を走っている友達を追いつつ、熱がこもります。

「がんばれ!、がんばれ!・・・」と、みんなの声と手拍子が重なり、走っている友達の背中を、力強く押しています。



最後の1周。「ラスト!」「ダッシュ!」、応援の声が響きます。どの子もペースアップし、残りの力を出し切り、次々にゴールしていきます。ゴールする度、歓声があがり、みんなで喜び合う心温まる姿がありました。

持久走大会では、これまでの練習の成果を十二分に発揮し、多くの子が目標タイムを上回ることができたようです。また、上回らなかった子も、目標タイムより若干下回ったくらいでした。

12月から自らの目標タイム達成をめざし、『もりも

り持久走タイム』や体育の時間での練習に励んできた子どもたち。目標タイムを上回った子も上回らなかった子も、全ての子どもが少しでもタイムを縮めようと、日々挑戦し努力し続けてきました。



持久走は、自分との戦いでもあります。自問自答しながら走り前へ前へと進める力は、これからの成長に生きて働くものとなることでしょう。

本番までのその姿は大変すばらしく、結果以上に価値あるものでした。そんな北杵築っ子たち全員に、大きな拍手を送りたいと思います。

「やっぱりパンジーの苗がほしいです!」

「学校や地域を花いっぱいにしてほしい」の願いのもと、花いっぱい運動の取組により、たくさんのプランターや鉢には、パンジーの花が咲き誇っています。

さて、校舎玄関先には、1・2・3年生の学級園があります。この学級園で育てた野菜の収穫が一段落し、少し寂しくなっています。

そこで、花いっぱい運動と呼応して、学級園にもパンジーの苗を植えようということになりました。

先日、ふと2年生の花壇に目を向けると、植えたはずの苗2本は枯れています。残念ながら元気を取り戻せそうにありません。たまたま2年生がいたので、「苗が枯れているね。この後、もう花が咲かなくなるけど、どうする?」と尋ねてみました。2年生は少し考えて、「このままでいい」との返事。花壇には、この苗以外にもチューリップなどの球根を植え、ネモフィラの種も蒔いているようで、今は地上にははっきりと姿をみせていませんが、どうやらそれらが生長すれば、花壇は花いっぱいになると考えたようです。

ちょっと、隣の3年生と1年生の花壇と一緒に見に行ってみました。すると、両学年の花壇に植えられた全てのパンジーの苗は、枯れずに順調に生育し、花壇に彩りを添えています。それをじっと見つめる2年生。やっぱり自分たちの花壇の枯れたところに苗を植え直して、パンジーの花もきれいに咲かせたいという思いが芽生えたようです。

その日2年生は、早速担任に、「植え替えるためにパンジーの苗がほしいです」とお願いしに行ったそうです。

パンジー、チューリップ、ネモフィラの花が咲き誇る2年生の春の花壇が楽しみです。

